

経営協議会議事要旨

1. 日時 令和2年1月21日(火) 13:28~14:15
2. 場所 創立50周年記念会館2階 岩木ホール
3. 出席者 佐藤(学長・議長)
今井, 岡井, 熊地, 永澤, 九戸, 木村
吉澤, 渡邊, 伊藤, 郡, 石川, 安川の各委員13名
- 欠席者 青山, 櫛引, 島, 三國谷, 福田の各委員5名
- 陪席者 山内監事, 澁谷監事, 柏倉副学長, 若林副学長, 神本学長特別補佐
加藤法人内部監査室長, 杉原国際連携本部長
- 事務部陪席 三浦総務部長, 木村財務部長, 小椋学務部長, 中西施設環境部長,
齋藤研究推進部長(兼)社会連携部長, 川村医学部附属病院事務部長,
浅利企画調整役(兼)企画課長, 大川総務広報課長, 庄司人事課長,
村市財務企画課長, 齋藤財務管理課長, 渡辺契約課長,
宍戸施設企画課長

4. 配付資料

- 資料1 【事前配布】経営協議会委員名簿(令和元年12月10日現在)
- 資料2-1 【事前配布】【元高国支第10号】011216通知 中期目標・中期計画の変更手続き等について(写)
- 資料2-2 【事前配布】国立大学法人弘前大学の中期目標新旧対照表(案)
- 資料2-3 【事前配布】国立大学法人弘前大学の中期計画新旧対照表(案)
- 資料3 【当日配布】国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
- 資料4-1 【事前配布】国立大学法人弘前大学の平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果(概要)
- 資料4-2 【事前配布】平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果
国立大学法人弘前大学
- 資料4-3 【事前配布】国立大学法人等の平成30年度評価結果について
- 資料5 【事前配布】弘前大学の令和2年度運営費交付金について
- 資料6 【事前配布】令和元年度内部監査結果報告書

- ・ 議事に先立ち議長から, 資料1に基づき, 木村委員の紹介があった。

5. 議事

- ・ 議長から, 11月19日開催の議事要旨(案)の確認が行われ, 原案のとおり承認された。

○審議事項

審議1 中期目標・中期計画の変更手続き等について

吉澤企画担当理事から, 資料2-1から2-3に基づき, 中期目標・中期計画の変更手続き等に関し説明があり, 審議の結果, 原案のとおり了承された。

審議2 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について

渡邊総務担当理事から、資料3に基づき、国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○報告事項

報告1 国立大学法人弘前大学の平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について

吉澤企画担当理事から、資料4-1から4-3に基づき、平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

報告2 弘前大学の令和2年度運営費交付金について

渡邊総務担当理事から、資料5に基づき、弘前大学の令和2年度運営費交付金について報告があった。

報告3 令和元年度内部監査の結果について

加藤法人内部監査室長から、資料6に基づき、令和元年度内部監査の結果について報告があった。

その他

学長から、1月末を任期の末日とした経営協議会委員について、3月末まで任期を更新したい旨発言があり、該当の委員について、令和2年3月31日まで任期を更新することとなった。

○質疑応答（□：学外委員 ○：学内委員）

1 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について

- 評価結果のうち、遅れている点として事件・事故の項目があるが、弘前大学において、不正等に関し当該評価を受けないための事前のチェック体制はどのようなになっているか。
- 事件・事故が発生したにもかかわらず、適切な対策等を講じなかった場合には、評価において指摘対象となる。また、不正等に関するチェック体制の構築は、大学機関別認証評価においても求められている事項である。これらを踏まえ、本学においては、チェック体制を明文化して対応しているほか、事件・事項等が発生した場合にあっても、事後の措置・対策等を適切に行っており、指摘を受ける状況とはなっていない。

2 弘前大学の令和2年度運営費交付金について

- 医学部附属病院に係る財政投融资の返済期間は何年か。
- 施設が30年（5年据置の25年返済）、設備は10年（1年据置の9年返済）である。

3 令和元年度内部監査の結果について

- 内部監査の結果で県内就職への取組みについて報告されているが、県内就職に関し学生が企業に求めていること、意見等があれば伺いたい。
- 全学の意見を集約したものはないが、個別に話しを聞く限りでは、企業の将来的な伸びしろを意識しており、先輩等身近な人物を参考としている傾向がある。今後は、当該観点のような調査・分析をしていきたいと思う。
- 県外就職をした卒業生等への県内企業の中途採用情報の提供等、就職後のフォローアップ環境の充実が望ましいと考える。
- 就職活動のほか、同窓会組織の充実のためにも、卒業生を把握していくことが重要と考えている。

以上